

# 治療に活かす！ 栄養療法 はじめの一步



推薦のことば…………… 松枝 啓  
はじめに…………… 清水健一郎

## 第1章 栄養療法って何ですか？

1. 誰も教えてくれない食事オーダー …………… 12
  2. 栄養療法で傷を治す！？ …………… 16
  3. 栄養療法でMRSAに立ち向かう！？ …………… 21
  4. 栄養療法で病院を変える！？～NSTという新しい文化～ …………… 24
  5. 世界の長寿食の結晶～ヘルシーランチの威力～ …………… 29
  6. 単なる栄養を超えたものとしての「食事」…………… 31
  7. 食品の3つの機能を知っていますか？ …………… 34
  8. 病院の中はガイコツ，病院の外はメタボ …………… 38
- 章末問題…………… 43

思い出の栄養療法・ケースレポート ①褥瘡 20 / ②視床出血後の食欲不振 37

## 第2章 低栄養ってどんな状態？

1. 主観的に栄養状態を評価する …………… 46
2. 自分の皮下脂肪はどれくらい？～身体計測～ …………… 52
3. 血清アルブミン値をみてみよう …………… 59
4. 「低アルブミン血症＝低栄養」ではない！？ …………… 62

5. アルブミンとCRPの関係 .....	66
6. アルブミン以外に注目してみよう .....	71
7. 大事なものの何ですか？～やせるとはどういうことだろう～ .....	75
章末問題 .....	80

### 第3章 低栄養を改善させよう

1. 最高の栄養療法とは～経口摂取～ .....	84
2. 必要なエネルギーをどれくらいにするか .....	87
3. 食べられない人にはどうする？～胃瘻と経鼻チューブ～ .....	95
4. 経鼻チューブの「罪」 .....	98
5. 胃瘻って何だろう？ .....	103
6. 末梢静脈栄養という選択 .....	109
7. ブドウ糖だけの輸液で本当にいいの？ .....	113
8. アミノ酸って大事なの？ .....	118
9. 脂肪アレルギーを克服しよう～プロポフォールの話～ .....	123
10. 脂肪で脂肪肝を防げる！？ .....	127
11. ビタミン、入ってますか？～ビタミンBとCの話～ .....	132
12. 中心静脈栄養はどんなときにするの？ .....	137
13. 中心静脈栄養のリスクとは .....	141
14. 中心静脈栄養のメニューを組むには .....	145
15. 微量元素を忘れないで .....	153
章末問題 .....	157

思い出の栄養療法・ケースレポート ③やせ型女性の脂肪肝 131

### 第4章 経腸栄養と向き合う

1. やってみよう！経腸栄養 .....	164
2. 半消化態ってどんなもの？ .....	168
3. 栄養剤が腸に与える影響は？～栄養剤の消化と吸収～ .....	174

4. 腸の栄養ってどんなもの？	178
5. 栄養剤って医薬品？ それとも食品？	184
6. 経腸栄養剤を選ぶ目を養おう	189
7. 経腸栄養は意外と怖い！？～嘔吐と下痢の恐怖～	195
8. 経腸栄養時の悪心・嘔吐対策	199
9. 聞きたくない言葉～先生、下痢になりました！～	204
10. 腸にもリハビリテーションが必要！？	208
11. <i>Clostridium difficile</i> (クロストリジウム=ディフィシル) という悪魔	211
12. まだまだあります～下痢の対策～	218
章末問題	221

## 第5章 栄養サポートから栄養セラピーへ

1. 重症敗血症に打ち勝つ	226
2. 敗血症のメカニズムを考える	231
3. 早く腸を使おう～ぐずぐずしている暇はない！？～	237
4. 血糖 200mg/dL は高いの！？	241
5. 栄養素のスーパースター～エイコサペンタエン酸 (EPA) ～	249
6. 栄養で傷を早く治すには	255
7. 黒船来航～オキシパー <sup>TM</sup> の衝撃！？～	261
章末問題	268

## 第6章 栄養療法の可能性を信じよう

1. ガイドラインの頼りなさ～自分でみつけ出す栄養療法～	272
2. 自分だけでは歯が立たない！？～チーム医療を促進するには～	274

●付録 もっと栄養療法を学びたい人へ	278
●索引	283

# Column

1. ワシントンマニュアルの栄養療法を超えて .....	28
2. コミュニケーションの達人を目指す .....	42
3. 注目の栄養評価法 MNA® .....	57
4. 果てしない継続学習 .....	79
5. 嚥下障害を伴う認知症と経管栄養 .....	108
6. マラスマスが伝統的にどう認識されてきたか .....	117
7. クワシオルコルと母乳 .....	122
8. 積極的な栄養療法の落とし穴 .....	152
9. 紀元前の頑固職人、フェイディアスの哲学 .....	156
10. インターネットを最大限に生かすために必要なこと .....	217
11. 鋭い観察眼が発見したクロストリジウム＝ディフィシル関連下痢症 .....	220
12.モチベーションを高く保ち続ける .....	267

## ※ 章末問題で理解度をチェック

各章ごとに章末問題を掲載しています。本文で特に覚えて欲しい部分を問題形式で聞かれています。ぱっと答えられない場合は当該箇所を読み返してみてください。すべて頭に入っている人ならその章の内容はバッチリです。次に進みましょう。

## ● 本書の登場人物



研修医

**研修医**：医師国家試験に合格して研修医になったばかり。医学部で栄養療法の勉強をしたことがないので、栄養の知識は必要ないと思っている。



しみず

**しみず**：7年目の内科医。現場に出てから栄養の奥の深さを知り、本気になって栄養療法に取り組みはじめた。あの手この手を使いながら研修医をその気にさせようとしている。